

とぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

令和6年3月1日現在の寿台
総世帯数 1,318 世帯
総人口 2,609 人
男 1,202 人
女 1,407 人
松本市寿台公民館
〒399-0021
松本市寿豊丘649-1
TEL. (0263)58-6561
FAX. (0263)86-7964

今年度を振り返って、各町会の活動

■一丁目 杉浦 聡彦

一丁目は唯一のイベントの炊き出し訓練が6月にありました。平均年齢は寿台で最も高い町会でひとり暮らしの世帯も多い。いきいき百歳体操の皆の提案で、社会福祉協議会・青年会議所・ボランティアの高校生方の協力により何とか無事開催できました。単独での行事

は今後も難しい一丁目ですが少しでもお互いの顔の見える関係を目標に町会長中心に努力しております。



■二丁目 古屋 千恵

令和5年度は、今まで中止していた行事が復活した一年でした。

まず夏祭りの御輿巡行です。二丁目ではコロナ禍に町会へ越して来た方にも声をかけ、快く参加して頂き、その後の行事参加へとつながりました。



■三丁目 宮下 茂

もう一つ、視察研修バス旅行が復活しました。4年ぶりの開催となった今年度は、「名古屋城とトヨタ博物館見学」で、大勢の方が参加してくださいました。他にもたくさん行事を無事に終える事ができました。来年度も、誰でも参加しやすい行事作りをしていきます。

高齢者の居場所づくりのために始まった「花のオパタリアン」によるお茶会も5年目を迎えることが出来ました。週1回行われる健康いきいき体操「めざせ百歳」、そして月1回の「お茶会」。それぞれに参加する顔ぶれは決まって来ていますが、今後一人でも多くの方に参加して頂けるよう頑張りたいと思います。



■四丁目 小島 英揮

今年度は、7月に町内の緑地帯に花壇を作つて花植えを行うことで、花に興味を持つて

もらったり、コミュニケーションのきっかけ作りができました。また、9月には敬老祝賀会、1月には三九郎を行い、子供から大人まで楽しんでもらえる活動を行うことができました。来年度は、さらに町内で楽しめる活動を続けていければと思います。



■五丁目 鳥羽 雅代

1月13日に三九郎をおこないました。今年は早い時間の点火でした。雪がかなり降っていましたが、朝からやぐらを作りましたが、午後の点火。途中役員が作ったカレーを食べ、子ども達も楽しい一日になったと思います。年々子ども人数が少なくなり、来年少配ですが、続けていけたらと思います。



■東町会 大塚 栄

東町会公民館カップマレットゴルフ大会を開催しました。70歳代数人、80歳代が中心になってきました。今年の大会

は男子はベテランの栗田さん、女子は初優勝の西村さんでした。

皆さん年々スコアが良くなり、普段の練習コースまわりがうまくなってきました。

月2回、マレットコースのみどりの芝をふんで談話したり歩くことは健康で気分転換になります。年間3〜11月にやっております。いつでもお入り会、その日からプレーできます。参加して元氣な足腰をつくりましょう。会長さんからのメッセージです。



■八丁目 江藤 弘子

今年度はいろいろな行事を行うことができました。敬老祝賀会や体育祭の慰労会、交流会での会食など、楽しい時間を過ごしました。

また、夏の猛暑対策として公民館を開放しました。最初は熱中症対策が目的でしたが、お茶会や無料のバザーを開き、交流の場にもなったと思います。





編集後記 館報編集委員

■杉浦 聡彦(二丁目)

今年度、初めて公民館長をやらせていただきました。

6月に新任町内公民館長研

■九丁目 竹内 良太郎

今年度はコロナ禍で中止が続いていた様々な恒例行事が復活した年でしたが、未だ感染症への懸念から大勢の場所は避けたい風潮が残ってしまいい大勢の参加が望めませんでした。そんな中、少しづつ気持ち前向きにとらえ、何度か回覧をし集まった人で、野外会

食お茶会等を開催してきました。今後はやり方を工夫して幅広い世代に関わってもらおう事で楽しく仲間良く元気な町作りを考えていく必要性を痛感した一年でした。



修会に参加しました。長野県には1,800もの公民館があり他県の5倍前後の数で、愛知県出身の私はびっくりしました。こんなにも地域づくりを大切に住民主体の自治を実践しておられる長野県を尊敬します。現在では私も松本市のいち住民であるので、傍観者にならないよう自分が出ること

は協力し、参加し続けていける人間でありたいと思います。

■町内公民館長会会長

■古屋 千恵(二丁目)

早いもので、今年度も編集後記を書く時期になりました。編集委員は町内公民館長が兼任していますので、館長会の会議の時に館報編集委員会も一緒にいきます。原稿の読み合わせや記事の選定などが主な仕事です。記事は、連合や各町会の行事が多く載っています。

今年度は、寿台連合創立50周年という事で、いろいろな記念行事がありました。町内公民館長としても編集委員としても色々経験させて頂き、実りある一年となりました。

最後に、いつも私たち委員を支えてくださる坂井公民館長と大津主事へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

■中島 孝子(三丁目)

今年度も無事終了の時期を迎え、ホッとしています。

コロナが5類となり、公民館の活動も増え、にぎやかになってきました。

まだ、マスクなしとはいかないですが、お顔もだんだんと拝見できるようにもなってきました。

少しづつ以前の生活、公民館活動が戻ってきています。

そのなかで、公民館活動はどうなっていくのかなと思いつつも、仕事を持ちながらの活動は難しく「手伝い」ということが多くなつてしまい、申し訳ないなと思いつつ、一年が終わりました。

ありがとうございました。

■小島 英揮(四丁目)

私が館報編集委員になって2年が経ちました。最初の1年

目は、まだコロナ禍ということもあつて中止になった行事も多く、記事も物足りなさがあつたかもしれない。しかし、今年度は、行事が徐々に再開されて記事も充実されてきたと感じています。記事の充実は地区の元気の表れかと思えますので、来年度は更に行事が活発に行われて、地区が盛り上がりつついくことを願っております。

■館報編集委員長

■鳥羽 雅代(五丁目)

今年で3年目になります。少しずつ、公民館の活動についてわかってきたかなと思います。が、まだまだ活動が少なうと思つています。今年度は昨年より少し多く活動が出来たかなとは思いますが、他町会にくらべて少なかったと反省しています。年代に関係なく、もつと町民の皆さんに公民館に来て楽しんでいただきたいと思つています。

■大塚 栄(東町会)

マレットゴルフは月2回、3月より11月まで、会場はテニスコートの東です。参加しやすくなりまし。東寿会は体育館玄関、トイレ清掃とお茶会、バス旅行は奈川野麦峠で入浴と懇

談会を楽しみました。育成会は松本ほんぼん、三九郎。家族づれで大勢参加され、まゆだま焼きを楽しみました。

■館報全市版編集委員

■江藤 弘子(八丁目)

町会連合会創立50周年という節目の年に、公民館と館報の編集に関わることができ、良かったです。

全市版でも、桜寿祭と記念祭の様子を「わがまち自慢」で取り上げてもらいました。自分達の町会が記事として載ると、やはり、嬉しいですね。

1年間、ありがとうございました。

■田中 春美(九丁目)

今年度は新型コロナウイルスのため中止になっていた行事が、みな開催される事になりました。

町会でも飲食を伴う集まりなどを開く事が出来、皆さん楽しまれたようです。

文化祭も盛大に開かれ、沢山の方が集まって楽しんでいました。大変印象に残りました。

初めて公民館長をさせて頂き、館報がどの様に作られているのかなど、勉強になった一年でした。